

フジフィルム スクエア 写真歴史博物館 企画写真展

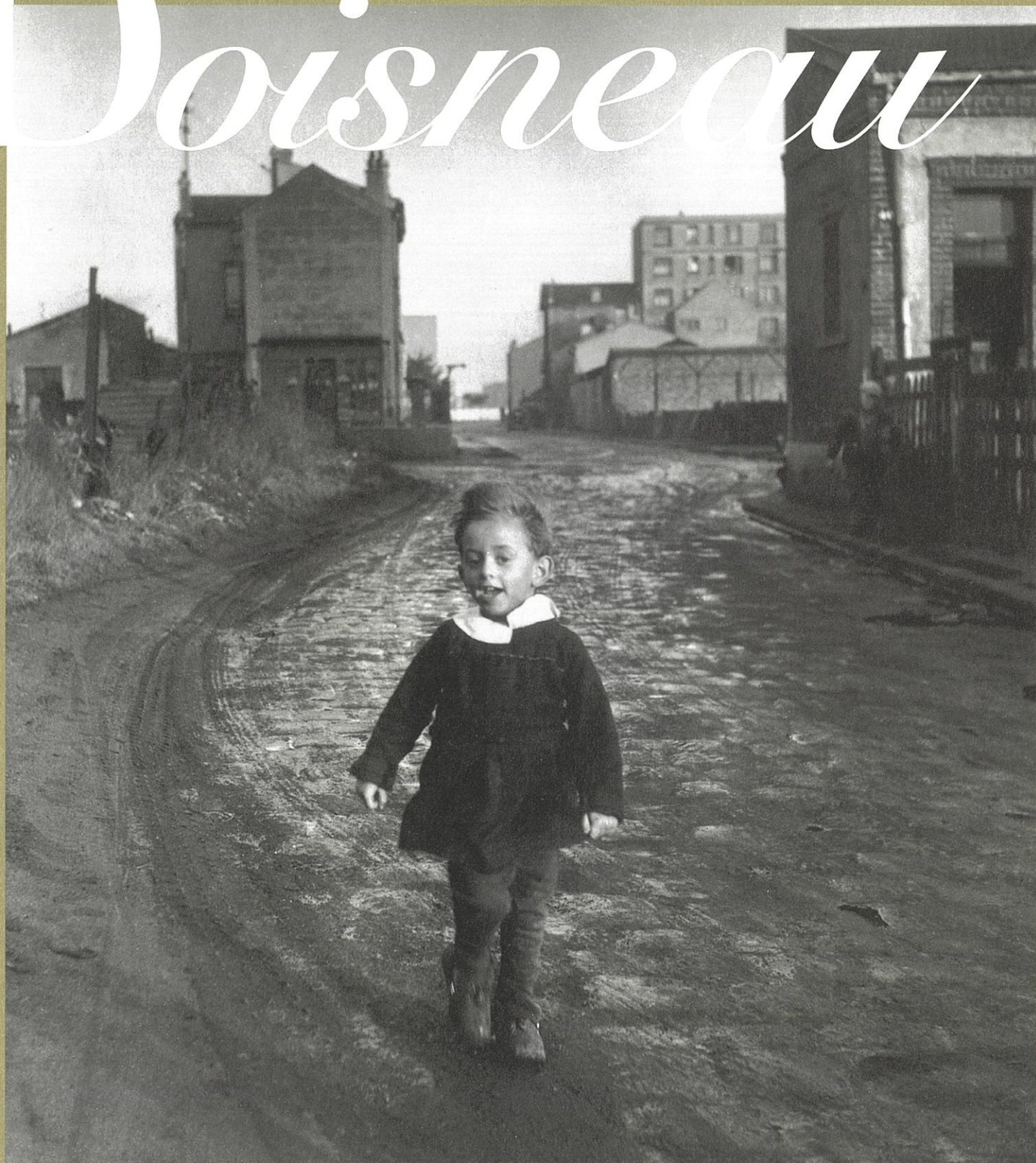
ロベール・ドアノー 写真展

第1部

Robert

パリ郊外～城壁の外側～

Doisneau



蝶々エリの子ども、サンドニ 1945年

2024.8.29thu - 10.30wed

主催：富士フィルム株式会社

企画協力：アトリエ・ロベール・ドアノー 企画：コンタクト

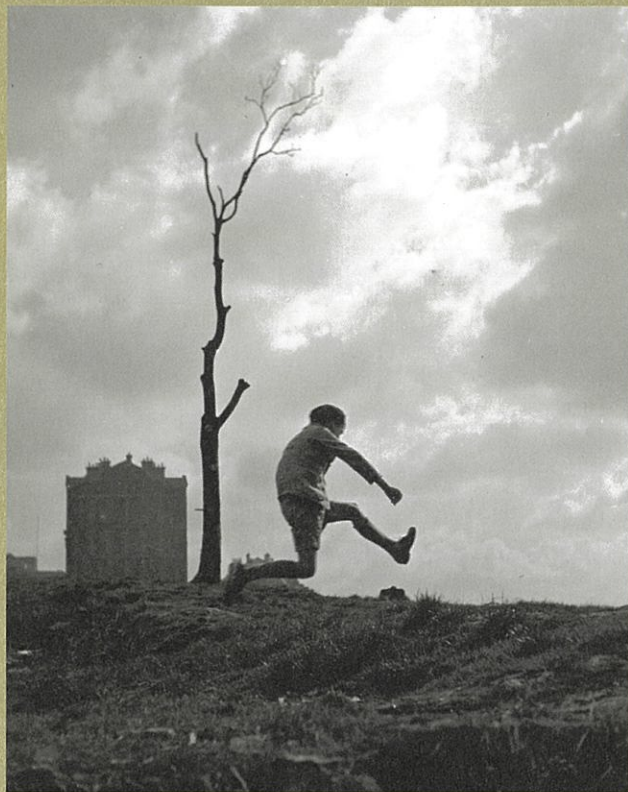
後援：港区教育委員会

10時～19時(最終日は16時まで、入館は終了10分前まで) 会期中無休・入館無料

FUJIFILM SQUARE

第1部 Robert Doisneau

パリ郊外～城壁の外側～



ボプラ砦 1932年

ロベール・ドアノー(Robert Doisneau)

1912年、パリ郊外ヴァル・ド・マルヌ県ジャンティイ生まれ。石版工の技術取得のためパリのエコール・エスティエンヌで学んだ後、写真家アンドレ・ヴィニョーの助手となる。1934年、ルノー社に産業カメラマンとして入社。1939年からフリーとして活動を開始。パリを中心に庶民の日常をとらえた写真で高い評価を得、現在でも世界中で愛され続けている。1951年には、ニューヨーク近代美術館で開催された《5人のフランス人写真家》展の出品作家に選ばれる。1992年、オックスフォード近代美術館で大回顧展を開催。1994年没(享年82)。ニエプス賞(1956年)、フランス写真大賞(1983年)など受賞多数。



牛乳を買いに行く子供たち 1934年

“イメージの釣り人”とも評される類まれな洞察力と遊び心に満ちた感覚で、日常に潜むドラマをとらえ写真史に大きな足跡を残したロベール・ドアノー。1912年、パリ南郊外にあるジャンティイに生まれ、生涯を通じて郊外に暮らし続けたロベール・ドアノーにとって「パリ郊外」は、写真家ドアノーを語る上で切り離すことのできない場所です。かつてはパリを取り囲む城壁で隔てられていた郊外は、当時、中心から疎外された人々が暮らす場所でした。

十代から働くことを余儀なくされたドアノーは、石版工のディプロマを取得後、19歳で写真家アンドレ・ヴィニョーの助手になり、1932年、念願だったローライフレックスを購入します。上から覗き込む姿勢で撮影するこのカメラは、内気なドアノーにとって最適のものでした。このカメラとともに、市井の人々の生活と郊外の風景の傑出した作品群を残しました。それは、自分が生まれ育った土地と人々に対する愛憎半ばする複雑なドアノーの心情が反映されたものだったのかもしれませんが。

撮りためられたパリ郊外の写真は、詩人のブレス・サンダールの後押しにより、1949年、ドアノー初の写真集となる『パリ郊外』として出版され、写真家ロベール・ドアノーの才能を知らしめる重要な礎となりました。

本展ではロベール・ドアノーの「パリ郊外」の作品約30点を展示することで、本年没後30年を迎えるドアノーの原点に迫ります。

第2部 10月31日(木)～12月26日(木)「永遠の3秒」の原点(仮題)

FUJIFILM 90th
Value from Innovation

フジフィルム スクエア 写真歴史博物館
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3

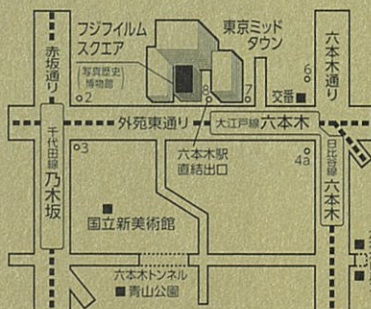
TEL 03-6271-3350
(電話受付 10:00～18:00)

URL <https://fujifilmsquare.jp/>

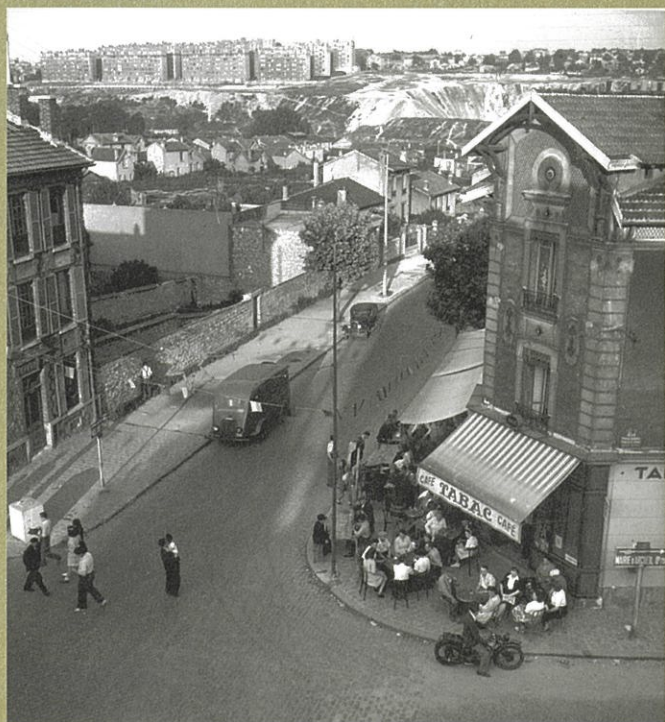
※写真展は、やむを得ず中止・変更させていただく場合がございます。予めウェブサイト、電話でご確認ください。
※祝花は固くお断り申し上げます。



写真歴史博物館は、2024年、公益社団法人企業メセナ協議会より、「芸術・文化振興による社会創造活動」として「THIS IS MECENAT 2024」の認定を受けております。



都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結
東京外口日比谷線「六本木駅」地下通路より徒歩約4分
東京外口千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩約5分



小さなテラス、アルキュイユ 1945年

フジフィルム スクエア 写真歴史博物館 企画写真展
ロベール・ドアノー 写真展

Robert
Doanoy



第2部
”永遠の3秒“の原点

地下鉄オペラ駅の恋人たち、パリ 1950年

2024.10.31thu - 12.26thu

10時-19時(最終日は14時まで、入館は終了10分前まで) 会期中無休・入館無料

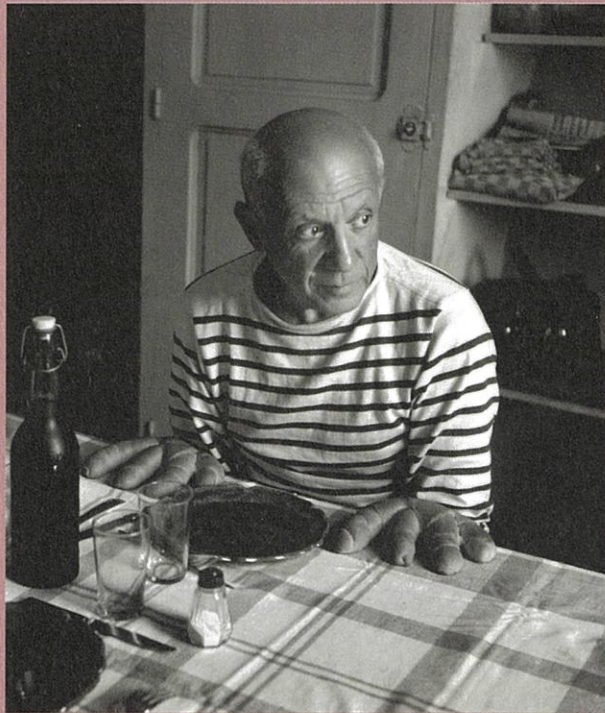
主催:富士フィルム株式会社

企画協力:アトリエ・ロベール・ドアノー 企画:コンタクト

後援:港区教育委員会

FUJIFILM SQUARE

Robert Doisneau



「ピカソのパン」、ヴァロリス 1952年

「今まで成功した写真はせいぜい300点。
1点が1/100秒だとすると、
50年でたったの3秒だ。」

(ロベール・ドアノー)

パリ郊外の労働者階級の家に生まれた子どもたちの例にもれず、十代から働いていたロベール・ドアノーにとって「写真を撮ること」=「生活の糧を得ること」でした。その作品が評価され名前が知られるようになって、一貫して「職人」という立ち位置を崩すことなく、粛々と写真を撮り続けました。その生涯を通じて撮影された約45万点の写真の大半は依頼された仕事のために撮影されたものと言われており、現在ドアノーの代表作として知られる多くの作品も例外ではありません。

本展は、「職業写真家としてのロベール・ドアノー」に焦点を当て、当時の雑誌や広告の仕事から精選した38点を展示します。時代や国境を越えて愛され続ける「パリ市庁舎前のキス」は、1950年米国のグラフ雑誌『LIFE』から「パリの恋人たち」というテーマで依頼を受け撮影され同誌に7点の組写真として掲載された1点でした。この作品が一気に注目を浴びるようになったのは、それから約30年後のことでした。1979年に刊行された写真集『永遠の3秒(trois seconds d'éternité)』に掲載されたことが契機となり、この写真のポスター、ポストカードが販売され世界中に知れ渡ることになったのです。

ロベール・ドアノーが写真家を志した1930年代、写真の仕事には多くの技術が求められる時代でした。多くの可能性を持つ「新しいメディア」でもあった写真に魅入られたドアノーは、仕事という枠組みの中で「不服従と好奇心は写真家の原動力」という自らの哲学を実践し独自の視点による写真を撮り続けました。本展では、産業カメラマンとして働いていたルノー社での仕事、『LIFE』、『ボワン・ド・ヴュ(Point de Vue)』、『ル・ポワン(Le Point)』といった雑誌に掲載された作品、さらに広告のために撮影された作品を一堂に展示します。

第2部 ”永遠の3秒”の原点



シムカの広告、アロンド 1951年

ロベール・ドアノー (Robert Doisneau)

1912年、パリ郊外ヴァル・ド・マルヌ県ジャンティイ生まれ。石版工の技術取得のためパリのエコール・エスティエンヌで学んだ後、写真家アンドレ・ヴィニョーの助手となる。1934年、ルノー社に産業カメラマンとして入社。1939年からフリーとして活動を開始。パリを中心に庶民の日常をとらえた写真で高い評価を得、現在でも世界中で愛され続けている。1951年には、ニューヨーク近代美術館で開催された「5人のフランス人写真家」展の出品作家に選ばれる。1992年、オックスフォード近代美術館で大回顧展を開催。1994年没(享年82)。ニエプス賞(1956年)、フランス写真大賞(1983年)など受賞多数。



組み立て作業 1946年

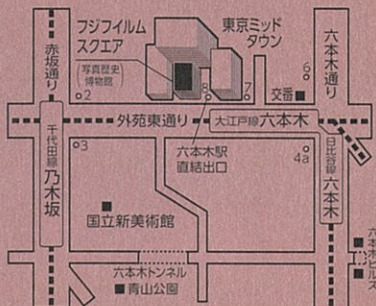
FUJIFILM 90th
Value from Innovation

フジフィルム スクエア 写真歴史博物館
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3

TEL 03-6271-3350
(電話受付 10:00~18:00)

URL <https://fujifilmsquare.jp/>

※写真展は、やむを得ず中止・変更させていただく場合がございます。予めウェブサイト、電話でご確認ください。
※祝花は国くお断り申し上げます。



都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結
東京メトロ日比谷線「六本木駅」地下通路より徒歩約4分
東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩約5分



写真歴史博物館は、2024年、公益社団法人企業メセナ協議会より、「芸術・文化振興による社会創造活動」として「THIS IS MECENAT 2024」の認定を受けております。

フジフィルム スクエア 写真歴史博物館 企画写真展
ロベール・ドアノー 写真展

Robert Doisneau

第1部

パリ 郊外 ~ 城壁の外側 ~



蝶々エリの子ども、サンドニ 1945年

2024.8.29thu - 10.30wed

10時-19時(最終日は16時まで、入館は終了10分前まで)
会期中無休・入館無料

主催: 富士フィルム株式会社
企画協力: アトリエ・ロベール・ドアノー
企画: コンタクト
後援: 港区教育委員会

©Atelier Robert Doisneau/Contact

FUJIFILM SQUARE

フジフィルム スクエア 写真歴史博物館 企画写真展
ロベール・ドアノー 写真展

Robert Doisneau

地下鉄オペラ駅の恋人たち、パリ 1950年



第2部

”永遠の3秒”
の原点

2024.10.31thu - 12.26thu

10時-19時(最終日は14時まで、入館は終了10分前まで)
会期中無休・入館無料

主催: 富士フィルム株式会社
企画協力: アトリエ・ロベール・ドアノー
企画: コンタクト
後援: 港区教育委員会

©Atelier Robert Doisneau/Contact

FUJIFILM SQUARE

フジフィルム スクエア 写真歴史博物館 企画写真展
ロベール・ドアノー 写真展

Robert Doisneau

パリ郊外～城壁の外側～

第1部

2024.8.29thu - 10.30wed

10時～19時(最終日は16時まで、入館は終了10分前まで) 会期中無休・入館無料

フジフィルム スクエア 写真歴史博物館 企画写真展
ロベール・ドアノー 写真展

Robert Doisneau

“永遠の3秒”の原点

第2部

2024.10.31thu - 12.26thu

10時～19時(最終日は14時まで、入館は終了10分前まで) 会期中無休・入館無料

第2部 10月31日(木)～12月26日(木)「“永遠の3秒”の原点(仮題)」

FUJIFILM 90th
Value from Innovation

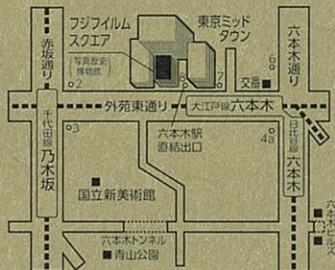
フジフィルム スクエア 写真歴史博物館
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3

TEL 03-6271-3350
(電話受付 10:00～18:00)

URL <https://fujifilmsquare.jp/>

※写真展は、やむを得ず中止・変更させていただく場合がございます。予めウェブサイト、電話でご確認ください。
※祝花は固くお断り申し上げます。

M 写真歴史博物館は、2024年、公益社団法人企業メセナ協議会より、「芸術・文化振興による社会創造活動」として「THIS IS MECENAT 2024」の認定を受けております。



都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結
東京メトロ日比谷線「六本木駅」地下通路より徒歩約4分
東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩約5分

FUJIFILM 90th
Value from Innovation

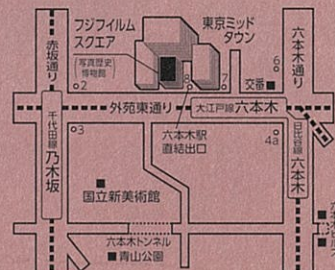
フジフィルム スクエア 写真歴史博物館
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3

TEL 03-6271-3350
(電話受付 10:00～18:00)

URL <https://fujifilmsquare.jp/>

※写真展は、やむを得ず中止・変更させていただく場合がございます。予めウェブサイト、電話でご確認ください。
※祝花は固くお断り申し上げます。

M 写真歴史博物館は、2024年、公益社団法人企業メセナ協議会より、「芸術・文化振興による社会創造活動」として「THIS IS MECENAT 2024」の認定を受けております。



都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結
東京メトロ日比谷線「六本木駅」地下通路より徒歩約4分
東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩約5分